

教育目標	
その子らしさを大切に たくましく生きる力の基礎を培う	
年度末の最終評価	
自己評価	<p>教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し</p> <p>その子らしさとは何かを考え、一人一人の違いを良さとして捉え、子どもの個性を大切にしてかかわってきた。教職員は子どもの良さをしっかりと認め、友達に知らせ、子ども自身が満足感を味わい、自信をもつことができたのではないかと思う。次年度も引き続き、子どもの内面理解を図り、一人一人の良さを認め、たくましく生きる力を培っていきたいと思う。</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>今年度もコロナ禍でなかなか園に来園し参観することはできなかったが、ホームページや子どもの姿の写真から、いろいろと工夫し運営していることがわかった。保護者の方は、日中の子どもの生活や学びに全面的に信頼をして園に子どもを委ねられておられ、その時間の子どもの成長を著しく感じられその成長が形として見えているのではないかと思う。アンケート結果も概ね良好であり、これからも、子どもが安心して通え、子どもを安心して通わせることができる幼稚園であり続けてほしい。ああ西院幼稚園の特徴を生かし、これからも西院幼稚園にすることが楽しいと思える幼稚園でいてほしい。</p>

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和3年11月4日	学校運営協議会
最終評価	令和4年3月25日	学校運営協議会

（１）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行動や姿のみに捉われず、子どもの思いを丁寧に見取り、内面を理解してかかわり、教師との信頼関係を大切にして保育を進める。 ・多方面から子どもの姿を捉え、記録したり、日々子どもの姿を教職員間で話し合ったり、保育を振り返ったりして保育の充実を図る。また、教育委員会や専門機関の先生から学んだことを活かし保育の質を高める。 ・教師も一緒に遊び、自ら遊びたくなったり表現したくなったりする環境や自然に触れたりいろいろな体験を通して学べる内容を考える。 ・子どもが安心して自分の素直な思いが出せたり、居心地が良いと感じられたりするクラスづくりを目指す。 ・コロナ禍であるが、感染対策を十分に行い、子どもが楽しめる保育を工夫する。
（取組結果を検証する）各種指標
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育や園内研究保育、記録やエピソードなどを通しての研究協議

- ・週案の反省、評価、改善 保育環境の構成及び検証
- ・アンケート項目「幼稚園に楽しんで通っている」「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」「友達と遊びことが好きである」「自分の思いや考えを言葉で伝えている」「体を動かして遊ぶことが好きである」「絵本やお話が好きである」「動植物を大切にしている」

中間評価

各種指標結果

- ・毎日の子どもの様子や言動から、週案やエピソードを見直し、子どもの姿を読み取る回数を多くもつことができた。また、担任だけでなく教員で環境構成の見直しをはかり実践している。
- ・アンケート項目より 回答者（保護者 37名 教職員 10名 計 47名）
 A よくあてはまる B あてはまる AB 両方の％
 「幼稚園に楽しんで通っている」(A38/47 B8/47 98%)
 「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」(A35/47 B10/47 95%)
 「友達と遊ぶことが好きである」(A35/47 B12/47 100%)
 「自分の思いや考えを言葉で伝えている」(A22/47 B17/47 81%)
 「体を動かして遊ぶことが好きである」(A35/47 B11/47 97%)
 「絵本やお話が好きである」(A27/47 B15/47 89%)
 「動植物を大切にしている」(A21/49 B21/49 86%)

自己評価

分析（成果と課題）

週案及び日々の記録やエピソード、ビデオや写真などを通して保育を振り返り、その中から、幼児理解や今後の支援のあり方について考えてきた。教育委員会の先生に来ていただき研究保育をして多面的に子どもを捉え、教師のかかわりや環境構成について、学んできた。これからも、いろいろな方からのご意見をいただき、日々、子どもの内面理解に努め子どもの発達や育ちを考えより子どもが楽しめる環境を整えていきたい。

分析を踏まえた取組の改善

幼稚園に楽しんで通い、体を動かして遊ぶことや友達と一緒に遊ぶことは、概ね良好だが、自分の思いや考えを言葉で伝えている・動植物を大切にしているなどの項目の評価がやや低い。今後、子どもが素直に思いや考えを相手に伝えられるような援助や動植物に親しみがもてる環境の構成を考え、改善していきたい。

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
 前期に準ずる。

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・親御さんの日々の生活の中で、反省として挙げられている気もする。（皆さん謙虚ですね）子どもと向き合いゆっくと聞き話をする余裕がないという悩みの表れかもしれない。
 - ・「自分の思いや考えを言葉で伝えている」については、具体的な方法を示すなどして、家庭で子どもと向き合う時間をつくってもらえたらと思う。例えば、自分の好きなものについて、質問形式で話合うなどどうか。
- また、自分の思いや考えを伝えられたことによる発見や喜びがでるような遊びや動画や映画やミュージカルをしたり見たりするのはどうか。すべての思いを言葉で伝えられることがよいとは思わないが。
- ・「自分の思いや考えを言葉で伝えている」について、このことが改善すると家での会話内容に変化がありそうだ。

	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣やコミュニケーション能力の育成は、家庭の影響が大きいように思うので、これら の大切を理解してもらうことが肝要ではないか。 アンケート項目の数字的には低くてもアンケートの言葉からも西院幼稚園で個々を大切に して伸ばせるかわかりが伺える。 <p>家庭と公の幼児教育との両論が相互に作用しあうので、情報を伝え合いつつ「モード」（よく 話すモード、動物を好むモード、絵本を手にするモード、挨拶するモードなど）をつくれると よいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭でも幼稚園でもいろいろな先生方に読み聞かせをしてもらいましょう。同じ絵本でも読み 手が変わると違った印象をうけるので面白い。
--	---

最終評価

	<p>（中間評価時に設定した）各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子をきちんと捉え、常に子どもの姿を教職員で話し合い、子どもの内面理解に努めた。 アンケート項目より 回答者（保護者 37名 教職員 9名 計46名） <ul style="list-style-type: none"> A よくあてはまる B あてはまる AB 両方の% 「幼稚園に楽しんで通っている」(A41/46 B4/46 98%) 「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」(A42/46 B4/46 100%) 「友達と遊ぶことが好きである」(A44/46 B2/46 100%) 「自分の思いや考えを言葉で伝えている」(A25/46 B18/46 93%) 「体を動かして遊ぶことが好きである」(A37/46 B8/46 97%) 「絵本やお話が好きである」(A35/46 B9/46 96%) 「動植物を大切にしている」(A24/46 B19/46 93%)
自己評価	<p>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 前期評価よりもほとんどの項目で高評価をいただくようになった。 今年度は、ICT の活用を保育に取入れ、運動会前にはオリンピックの様子を子どもと一緒に見たり、生活発表会では練習している姿を収録し見て振り返ったりした。また、保護者にはマラソン大会の様子を YouTube で配信したり、生活発表会の DVD を制作し保護者に配布したり、コロナ禍ではあったが、子どもの様子を知っていただくよう努力した。また、休園中はオンライン保育をして、家庭と幼稚園をつなぎ、手遊びや絵本の読み聞かせを30分間行なった。今年度 ICT を取り入れた保育を少し行うことができたが、次年度は、もっと ICT について学び取り入れていきたいと思う。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭のネット状況に配慮しながら、家庭と園とをつなぐためにオンラインを日々取り入れていけるようにしていきたい。 動植物、特に生き物に触れ合い親しめるように、保育に取入れていく。
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> 「幼稚園に楽しんで通っている」この項目について例年最も関心をもって見ている。AB 評価合わせてほぼ満票ということで大変素晴らしいと思う。楽しい園生活を送ればすべてのことがクリアにできるように思う。 一番見てとれる子どもの姿から、楽しんで遊び、その中での学びと成長が伺える。 「動植物を大切にしている」のアンケート集計結果の A が低いのが気になる。 コロナ禍で加速した学校の ICT 情報化に幼稚園も情報のやりくりや現在の親子さんに向けて

	<p>教育現場の実態に則したことを用いた発信方法を取り入れていくことは必要だと思う。コロナをきっかけにやるようになり、オンラインの便利さもわかるようになってきたので、今後も必要に応じて活用されていくのではないかな。さらなるコンテンツの工夫など検討していかなければならないが、現実の保育、幼児理解がよりよく機能することを願う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の紹介ムービーや園内展のムービーは見せていただいた。実際に行くことができないような状況では動画は様子がよくわかり、いいと思った。 ・教職員の方々は皆十分に保育の充実と改善に努めていると感じている。
--	--

(2) 幼小連携・接続に関して

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小の交流や教員同士の研修の内容を保護者や地域の方に伝え、安心して小学校へ就学できるようにする。 ・幼小互いの授業や保育を参観し研究協議をしたり、教員同士の研修を行ったりして、幼小接続に向けて保育の充実を図る。 	
<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間交流保育の作成や研修会への参加 ・小学校の授業参観の参加後のアンケート ・アンケート項目「幼稚園・小学校の連携ができている」 	

中間評価

<p>各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生との交流はコロナ禍でもてなかったが、教職員同士のかかわりを通して話し合うことはでき幼稚園理解や子ども理解を図っている。また、幼稚園からは小学校の研修会に参加させていただいた。 ・アンケート項目「幼稚園・小学校の連携ができている」 ((A21/47 B23/47 94%)) 	
自己評価	<p>分析 (成果と課題)</p> <p>コロナ禍のため、小学生と年長児との交流保育はできなかった。しかし、西院第二グラウンドを使用させていただき、小学生も同じグラウンドを使っているということで、小学生に親しみをもっている子どもが多くいる。また、10月から小学生が自園の遊戯室を低学年が使用していることで、預かり保育に参加している子どもは小学生の授業を身近に感じている。運動会には校長先生教頭先生が参観に来てくださり、園児の姿からご意見をいただくことができた。</p> <p>教職員の合同研修については、今回はほとんどできていないが、今後互いの保育や授業を参観し、子ども理解について研修していきたい。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>幼稚園・小学校の連携について、94%と概ね良好だが、Aのみだと47人中21人という評価になっている。連携についてもっと具体的に内容を知らせると共に、コロナ禍であるが、出来る範囲で連携や交流を行っていきたい。</p>
	<p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <p>前期に準ずる。</p>

学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校の連携について、あまり知らない保護者の方が多いのではないか。保護者の方々や教職員の方々が小学校との連携とは、どのようなことを思っておられるのか？ もう少し具体的なところがわかれば前向きな話し合いができると思う。 ・連携については、今、特異な状況であるが、それでもよく連携されているように思う。

最終評価

<div>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため園児と児童の交流や互いの参観や教職員同士のかかわりを通して話し合うことは難しかった。しかし、コロナ禍でも給食を小学校から園に運んでいただき給食体験をしていただいたり、校長先生による保護者向きのお話をオンラインで行っていただいたりして幼小連携を行ってきた。また、就学に向けて、就学先すべての小学校と連絡を取り合い、子どもたちの滑らかな接続に向けて取り組んできた。 ・アンケート項目「幼稚園・小学校の連携ができている」 (A35/46 B11/46 100%) 	
自己評価	<div>分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題</div> <ul style="list-style-type: none"> ・給食体験や小学校の校長先生のお話を行っていただいたことは、保護者の方の安心につながった。また、小学校の第2グラウンドを大いに使用させていただいた。コロナ禍により、園児・児童との直接的な交流はできず、教職員同士の研修も行うことは少なかったため、次年度はしっかりと交流連携を行っていききたい。
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で園児・児童が直接交流できなかった場合は、オンラインを利用した交流を考えていく。また、小学校とのかかわりを深くもち幼小連携から幼小接続に向けて取り組んでいきたい。
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校共に公立ということと地理的条件が良いことで、一層強い連携ができていることが大変好ましいことで、この後も関係が深まることを願う。 ・校長先生のお話は保護者の方は皆大絶賛だったようだ。オンラインとのことでより身近な存在として校長先生を感じ得ることができたことが保護者にとってはよかったようだ。丁寧にわかりやすく、そして、校長先生の優しさお人柄と西院愛が保護者に伝わって嬉しく思う。自由記述で「幼稚園と小学校もこの地域でのびのびと成長を見守ってもらえそうで、とても素敵だと感じた」という意見がとても嬉しく感じた。 ・よい時期に親の不安に寄り添ったお話をしていただいたことを皆さん喜んでおられたことと感じた。日頃から幼稚園と小学校との連携が取れていることで、小学校の校長先生のお話が入園前の子どものことをよく考えていただいているということをも安心している。 ・校長先生のお話は好評で、安心して入学を迎えられるのが何よりだ。 ・保護者の感想からしかわからないが、役に立つ情報が提供できているように思った。

(3) 預かり保育に関して

<div>具体的な取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ・担任、預かり保育担当者、保健職員の連携を密にして、子どもの心身の負担に配慮しながら保育を考えるようにする。健康管理、親子関係、人間関係などを共通理解し、同じ方針で取り組む。 ・家庭との緊密な連携を図り、情報交換しながら、家庭の負担も少なくし、子どもを共に育てるという思いで取り組む。

（取組結果を検証する）各種指標

- ・ 預かり保育の記録内容 参加人数
- ・ アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」

中間評価

各種指標結果

- ・ 預かりに参加している子どもの様子や言動から、子どもの姿を探る。
預かり保育参加者も少しずつ増えてきている。

アンケート項目

「子どもは預かり保育に喜んで参加している」((A31/47 B9/47 85% 回答なし 4)

「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」 ((A23/47 B19/47 89% 回答なし 4)

自己評価

分析（成果と課題）

異年齢のかかわりを大切にして預かり保育を行ってきた。また、一人一人が安心して参加できるように担任と預かり保育担当者が連携を取りながら、子どもの心や体調を考え参加できるように努めてきた。年長児になると預かり保育に喜んで参加する子どもも増加してくるが、年少児にとっては、疲れやすく家庭に帰りたくなる子どももいる。また、夕方友達が帰っていくと少し寂しくなるようだ。子どもたちの体調を考え、少人数になっても寂しくないようにしたり、家庭的な雰囲気が味わえるように工夫したりしている。

分析を踏まえた取組の改善

昨年に比べ、参加者も増え、預かり保育に楽しんで参加する子どもが増えてきた。また、保護者の方からも、預かり保育の様子がよくわかり安心できるという評価は89%と概ね良好である。今後も保護者の方が安心して預かり保育に参加させられるようにまた緊急時には気兼ねなく預けられるようにしていきたい。

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

前期に準ずる。

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・ 預かりを経験している親御さんの声（口コミ）を伝えられるようにするのはどうか。親同士で気になることや情報交換をするというのは思っている以上に大きいと思う。
- ・ 手紙等でわかりやすく発信できていると思う。
- ・ 喜んで参加しているとの回答が多いので、その様子を意識して伝えるとよい。

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果

- ・ 預かりに参加している子どもの様子や言動から、子どもの姿を探る。
- ・ 預かり保育参加者も少しずつ増えてきている。

アンケート項目

「子どもは預かり保育に喜んで参加している」((A31/46 B9/46 85% 回答なし 4)

「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」 ((A23/46 B19/46 89% 回答なし 4)

自己評価	<p>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育を利用する参加人数は増えてきた。また、参加を決っていた子どもも後半は預かり保育が楽しくなったようで参加も増えてきた。参加させている保護者の声や参加している子どもの様子や言動から、子どもの姿を探り、内容を充実させ、保護者も子どもの安心して参加できる預り保育を考えていく。 ・コロナ禍において、3学期は特に感染が拡大したため、学年別に預かり保育を行い、また換気や消毒等の感染対策を十分に行い預かり保育を実施してきた。
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の内容をもっと充実させ、保護者の方にも詳しく内容を知らせ、安心して預かり保育に参加してもらえるようにする。また、18時まで預かり保育を行っていることをたくさんの方に知らせ、働く保護者の方も西院幼稚園に安心して子どもを通わせることができるようにしていきたい。
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズと子どもの思いがマッチしているのが、周りの目から見ても、考えておられることがわかる。子どもの立場に立って見ていることがありがたい。 ・アンケートの結果からはよい評価を得ていると思う。 ・保護者の方の思い例えば「〇〇させて遊ばせてほしい」とか具体的に意見が出ているのか。

（４）子育ての支援に関して

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全な遊びの場を提供し、保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努め、子育てを楽しみ、子どもの成長を喜び合える保護者同士の場となるようにする。（教職員からの挨拶や声かけ） ・幼稚園の内容を知っていただくために、ホームページや手紙などで発信する。 ・保護者の相談に丁寧に応じる。
<p>（取組結果を検証する）各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援教育相談の参加人数、相談件数 ・園児の増加人数 ・教職員の意識調査アンケート「未就園児の親子の顔と名前が一致している」「未就園児の親子に必ず挨拶をしている」

中間評価

各種指標結果	
<ul style="list-style-type: none">・教育相談新規参加者の人数及び保護者の方からのご相談回数は増加傾向にある。しかし、2歳児の子どもについて3年保育やプレ保育が決まると参加しない子どもが増えている。・教職員は未就園児親子に必ず挨拶をしている。	
自己評価	分析（成果と課題）
	<ul style="list-style-type: none">・教職員はいちご組クラスの親子については全員把握しており、一人一人の子どもの姿等について話し合い共通理解をしている。ひよこ組については、毎週参加してくださる方についてはだいたい把握している。新規の参加者は毎週1～3名来られるが、継続して来られる方は少ない。また、他の就学前施設が決まると来られなくなる。気兼ねなく来られる園を目指し、親子共

	<p>継続していける教育相談にしていくことが大きな課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も今のところ、ほっこり子育てひろばはコロナ感染防止のため中止している。
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>未就園児クラスの保育の充実を図り、コロナ禍ではあるが感染防止対策を十分に行い、安心して親子共に参加できるようにしていく。次年度の3歳児を増やすことが大きな課題である。</p>
	<p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <p>前期に準ずる。</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/27のひよこ組の様子を拝見したが、京都市図書館の方が来てお話をしてくださったことはとてもよい取組みだと思った。以前からしていただきたかった。市図書館と教育機関の連携により豊かな読書生活を進めていけることを今後も望んでいる。 ・近くに小さな子どもがいますと、西院幼稚園を紹介している。

最終評価

	<p>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児親子のひよこ組の参加は増加傾向にあったが、3学期、コロナの感染拡大により中止することとなった。また未就園児クラスいちご組について、子どもも園に慣れ落ち着いてきたこともあり弁当を増やす予定だったが、3学期コロナの感染拡大防止により、完全午前保育となり、保護者の方に不便をたくさんおかけした。 ・ほっこり子育てひろばは、コロナ禍のため中止した。
自己評価	<p>分析(成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児クラスの保育内容の充実を図る予定だったが、コロナ禍により充実することが難しくまた、参加された方が単発参加でなく、毎週継続して参加できる体制もつくるができなかった。次年度こそは、保育の充実や継続した参加を図り、地域の子育て支援としての役割を果たしていきたい。 ・次年度3歳児未就園児クラスいちご組の登録数はかなり少ない人数になり、人数を増加させるための改善策を考え取り組むことが大切になってくる。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して参加できる教育相談を目指していく。また、教育相談の内容を充実させていく。
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状からすると実施が難しいと思うので、接点をもつのが難しいと思うが、次年度コロナが収まれば改善するのではないかと思います。 ・次年度3歳児未就園児クラスの登録数が極端に少ないのはコロナの影響なのか、これまでにない少なさに驚いている。ただ例年10人未満の時も年明けや途中からそれなりに増えてくるのもいちご組の特徴と思っているのでもう少しは自然に増えるかと思う。 ・保育園もコロナ感染があるため休園になり仕事を続けることが困難になったという母親の声もあった。幼稚園か保育園かの選択も母親の働き方の考えにより変わる部分もあるかもしれない。何は無くとも3年保育が行われているか否なかはこの問題に大いにかかわることだと思う。

(5) 地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）に関して

具体的な取組

- ・月一回の公園清掃を通し、公共の施設を大切に使う意識をもつ。
- ・地域の方とのつながりを大切にし、地域で大切にされているという思いが感じれるようにする。
- ・学校運営協議会の方による幼稚園教育の参画の充実を図る。

（取組結果を検証する）各種指標

- ・地域の方とあいさつをしたり、園の行事にできる範囲で参加してもらいかかわったりしているか。
- ・学校運営協議会を中心とした地域の方との交流や環境を活かした保育ができたか。
- ・学校運営協議会企画推進委員会による園行事の参画結果。

中間評価

各種指標結果

- ・今年度もコロナ禍のため、地域の方と合同の公園清掃はできず残念だった。
しかし、緊急事態宣言中は園児のみ、その他は親子で月に一度公園清掃を行い、自分たちの身近な公園を大切にしようという意識をもつことができた。
また、理事の方には公園や園の雑草を抜いていただいたり、プールの組立を手伝っていただいたり、子どものためにお手伝いをしてくださった。
- ・コロナ禍のため、保育に参加していただいたり、行事を見ていただいたりすることはできなかったが個々にご意見をいただくことができた。

自己評価

分析（成果と課題）

- ・地域の方に大変お世話になり、地域の回覧板に園だよりを入れていただくことができた。「回覧板を見てます」との声を聞かせていただき、知っていただく機会になった。また、小学校の第二グラウンドの使用についても給食時や空いている時間を有効に使用させていただいている。第二グラウンドを身近に感じられるようになってきた。しかし、地域の方との直接なかかわりができていないので、コロナ禍でもできるかかわりを考えていきたい。

分析を踏まえた取組の改善

コロナ禍でもできるかかわりを考え、感染対策を十分にしてリズムランドや公園清掃など復活させていきたい。

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

前期に準ずる。

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・そろそろ公園清掃を地域の方と一緒にしてもいいのではないかな。
- ・回覧板でのお便りは、西院幼稚園 OG さんたちは「久しぶりに幼稚園の様子を見られて嬉しかった」との声をいただいた。
- ・地域の方からの声はまだ直接入っていないが、右京図書館には入り口の一番よく見えるところに掲示しており、本を借り終えた人が出て来てエレベーターに向かうというところで足を止めて見ておられた。
- ・園だよりはカラーで見やすく、とてもよかった。見やすさなど改善されよかった。

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果

- ・地域とのかかわりはほとんどもつことができなかった。

自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、地域の方と一緒にを行う公園清掃はすることができなかった。 ・地域の回覧板は、今回も評判がよく、園を懐かしがっていただいたり、園のことを地域の方に知っていただいたりすることができた。
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・次年度こそは、地域の方とのかかわりがもてるようにと願い、行事を見直し無理なくできることを考え少しずつでも地域の方とつながりをもって一緒に行っていきたい。
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"> ・先が展望できる保幼小中とそれを取り囲む地域との連携を培ってきた土壌があるので、そこでつながり育まれているということを実感してほしい。 ・来年度は地域の子育てサロンを西院幼稚園でできたらいいと思う。未就園児の親子が幼稚園に来ていただけるよい機会なので、私自身も何かと頑張っていきたい。公園清掃も4月より一緒に参加できると嬉しい。

（５）教職員の働き方改革について

重点目標 保護者から信頼され、明るく元気に楽しい職場づくりを目指す。
具体的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員が進んで挨拶したり、自分の業務をきちんと行ったりする。 ・仕事の効率化を図り、勤務時間内で仕事を終えるようにする。 ・校務支援員の任用や、仕事を分担したり、声を掛け合い協力して仕事をしたりする。
（取組結果を検証する）各種指標 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の勤務状況や年休取得はどうか。 ・保護者の方が声をかけやすく、安心して子どもを預けてくれているか。

中間評価

	<div>各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none">・年次休暇の取得の増加，仕事内容の見直しを図り，時間外勤務を少なくしてきた。・教職員全員が子どもを大切に考え，自分から声をかけ，親身になって相談にのっているか。
自己評価	<div>分析（成果と課題）</div> <ul style="list-style-type: none">・校務支援員の配属により，一人当たりの業務の軽減につながり，時間外勤務は少なくなった。・保護者の方に協力いただき，年休取得促進日を設けることができ，年次休暇の取得につながった。しかし，行事前などは遅くまでかかってしまうことがあるので，計画的に能率よく業務が行えるようにしていきたい。
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <p>勤務時間内に業務終了できるように，時間配分を考えて業務に取り組む。また，本日中に絶対に行わないといけないこと以外は，時間外には行わないようにする。</p>
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <p>前期に準ずる。</p>

学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> 先生たちの心や体が万全になるような工夫が必要。コロナで大変ではあるが、子ども以上に充実した日々が送れるようにと思う。何かあったらお手伝いするので、気軽に声をかけてください。 先生のおかげですなどと、子どもや保護者への丁寧な対応に安心と満足をもたれている。親が安心できると子どもも安定した気持ちで楽しく過ごせると思う。 園の先生方は十分に努力してくださっている。危険が回避されるような注意を常に払いながら園児たちを指導してくださっていると思う。 コロナ禍の今、環境づくりは感染防止が最重要になり、先生方にとっても大変ご苦労が多く、思うような保育環境の提供ができず負担になってしまっていると思う。その中でもいろいろな工夫をされ、子どもたちが子どもらしく活き活きと過ごすことができているのではないかな。先生たちの気持ちや心の中にある子どもを大切に思ってくださっていることが、目には見えなくても子どもたちにとっての大切な環境になっていると思う。

最終評価

自己評価	<div>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> 教職員全員が子どもを大切に考え、自分から声をかけ、親身になって相談できる雰囲気を持ち、信頼関係を築く。 年末の年休習得推奨日は、保護者の方の協力をいただき、園を閉鎖することができ、教職員全員が年休を取得することができた。
	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果にあった教職員になんでも相談しやすいという項目において、一人でも園に対してマイナスな思いをもっている方がおられる以上、反省すべき点を考え、次年度は取り組んでいきたい。
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <p>安心安全な幼稚園を目指す。</p> <p>業務内容の見直しを図り、教職員は就労時間をきちんと守り、残業がないようにする。</p>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> どの先生や職員さんにも私自身話しやすいと思う。また、一般の人間としても、西院幼稚園の先生や職員の方とはいつ誰が伺っても明るくきちんと挨拶をしてくれる。そのことは声をかけやすいと感じる一番の要因である。